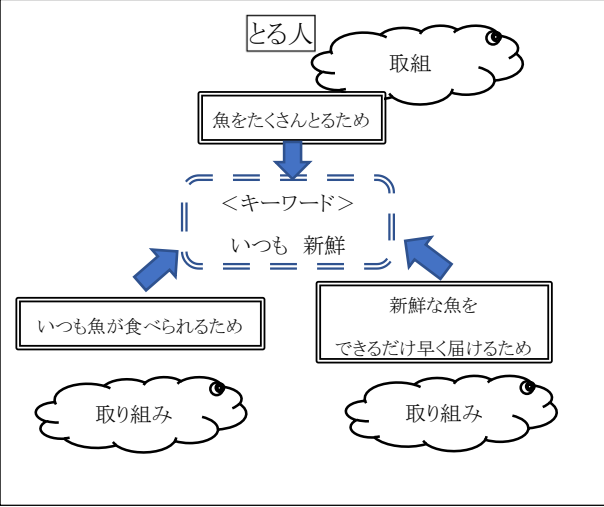


5 本時の指導

(1) 目標

・これまでの学習をまとめ、水産業にたずさわる人々の工夫や努力により、消費者に魚が届けられ、食料生産を支えていることを理解する。

(2) 本時の指導

	4つの学習内容	○学習活動 ☆評価	7つの学ぶ力
つかむ		○これまでの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 <div>学習問題に対する自分の考えをまとめよう。</div>	
考える	①体験 総合的な学習の時間のヒラメを受け入れるための準備学習、養殖の種類・メリットとデメリットで学んだことを生かして考える。 ②③人・モノ 養殖プロジェクト(NPO日本養殖振興会・日本財団海と日本プロジェクト共催)・NPO日本養殖振興会の方による養殖活動の指導 ・養殖用ヒラメ(5匹×4クラス)と水槽、ろ過装置	○調べたことを関係図に整理する。 <div></div> ☆水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて、水産業に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。【思・判・表②】(発言)	①話す・聞く力 調べたことや自分の考えを、根拠をもって話す。話し手が伝えたいことを聞き取り、つなげて話を広げる。 ⑤考える力 理科「植物の発芽と成長」の条件制御をして実験をした結果を結び付ける活動
まとめる		○自分の考えをまとめる。 <div>水産業にたずさわる人々は、魚をたくさんとる工夫や魚が減っても消費者にとどけられるように育てて増やす取組などを行っている。また、とれた魚を新鮮なまま、できるだけ早く運び、私たちにおいしい魚を届けている。だから、私たちはいつも魚を食べることができているのは、水産業にたずさわる人々の工夫や努力のおかげである。</div> ☆水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。 【知・技②】(ノート記述)	⑥まとめる力 5年国語「どちらを選びますか」での、事実と考えを整理する活動や、5年社会「米作りのさかんな地域」での経験を生かして学習問題に対する自分の考えを書く。

第5学年 社会

水産業のさかんな地域

授業日:9月17日 5校時

授業者:小山 恭延

学 級:第5学年1組

1 小単元の目標

我が国の水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、各種の資料で調べ、まとめ、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことをもとに、水産業の発展について、考えようとする態度を養う。

2 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などについて、地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法を工夫したりして、良質な水産物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	①水産業の生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見出し、水産業に関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。 ②水産業の仕事の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて、水産業に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	①水産業について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、消費者と生産者の立場から多角的に考えて、これからの水産業などの発展について考えようとしている。

3 授業デザイン

学習指導要領 第5学年内容(2)我が国の農業や水産業における食料生産に、以下の各教科等・領域、4つの学習内容、7つの学ぶ力をつないで、授業をデザインした。

各教科等・領域	4つの学習内容	7つの学ぶ力
<div>総合的な学習の時間</div> <div>「いのちの学習」でヒラメの養殖活動に取り組む。調べたことについて、生産者の立場で考えることで、より深い理解につながる。</div> <div>また、社会科で学習するつくり育てる漁業(養殖)の内容を、総合的な学習の時間として扱うことができる。</div> <div>ヒラメの養殖活動</div> <div>9月から3月まで、ヒラメの養殖活動を通して、生産者の立場から養殖について学ぶ。</div>	①体験 <div>ヒラメの養殖活動</div> <div>9月から3月まで、ヒラメの養殖活動を通して、生産者の立場から養殖について学ぶ。</div> ②③人・モノ NPO日本養殖振興会の「陸上養殖プロジェクト」に参加することで、 <div>養殖の専門家</div> からの話を聞き、関心を高める。 ④楽しさ 自分が普段食べている水産物を思い出すことで、自分の食生活と水産業とのつながりを見付ける。	②NIE で身に付く力 NIE で学習した新聞から必要な情報を読み取る力を活用する。 ③予想する力 理科の実験の予想の仕方、5年社会「米作りのさかんな地域」で学んだことを活用して、学習問題に対する予想を考える。 ④調べる力 社会「国土の地形と気候」の気候の特色と海流を関連付けて読み取り、情報を集めたり比較したりする。算数の折れ線グラフ、棒グラフで学んだことを活用して正しく読み取る。

4 指導計画

	オリエンテーション	つかむ	調べ・考える			まとめる	いかす
時数	1	2	3	4	5	6 本時	7
めあて	水産物は、日本のどのあたりで多くとれるのだろうか。	学習問題と計画を立てよう。	長崎漁港の近くでは、どのようにして魚をとっているのか。	とった魚をだれがどのように届けているのか。	生産量がへった理由と対策には、何があるのか。	学習問題に対する自分の考えをまとめよう。	日本の水産業がもつ課題に対してどのような取り組みがされているのか。
主な学習活動	・日常の中で食べている水産物はどのようなものがあるか思い出す。 ・資料をもとに、水産物が多くとれる場所と理由を調べる。	・資料をもとに、日本の水産物の消費量と生産量を調べる。 ・調べたことから生まれた疑問から、学習問題を立て、予想と学習計画を立てる。	・日本で行われている漁業と漁法を調べる。 ・資料をもとに、長崎漁港の漁業の特徴を調べる。	・漁師さんが水あげした魚が食卓に届くまでの過程を予想する。 ・資料をもとに、どのような過程で届けられているのか調べる。	・資料をもとに、生産量が減った理由と対策について調べる。	・これまでの学習を振り返り、とる人、運ぶ人、育てる人のそれぞれの工夫や努力についてまとめる。 ・図やキーワードをもとに、学習問題に対する自分の考えを書く。	・パソコンを用いて、日本の水産業が課題に対して取り組んでいることを調べる。 ・調べたことを共有する。
学習内容(児童のゴールの姿)	＜まとめ＞ 水産物は、日本の近海どこでもとられている。また、大陸棚や海流の影響で日本近海はよい漁場となっている。	<div>学習問題</div> 水産業にたずさわる人々は、私たちがいつも魚を食べられるために、どのようにして魚をとり、届けているのだろうか。 <div>学習計画</div> 3:とり方 4:届け方 5:生産量が減った理由と対策 6:まとめ	＜まとめ＞ 長崎漁港では主にまきあみ漁で魚をとっている。また、新鮮さを保ったり、確実にとったりするために、漁師さんは様々な工夫をしている。	＜まとめ＞ 水あげされた魚は、市場、出荷業者、おろし売りなどを通して、小売店へと届けられる。その間も新鮮さを保つための工夫がされている。また、魚の価格には、様々な手数料が含まれている。	＜まとめ＞ 生産量がへった理由には、環境の悪化やとりすぎがある。また、海外からの安い魚の輸入によって価格が下がり、若い生産者の後継者が不足している。	<div>学習問題に対する自分の考え</div> 水産業にたずさわる人々は、魚をたくさんとる工夫や魚が減っても消費者にとどけられるように育てて増やす取組などをしている。また、とれた魚を新鮮なまま、できるだけ早く運び、私たちにおいしい魚を届けている。つまり、私たちはいつも魚を食べることができているのは、水産業にたずさわる人々の工夫や努力のおかげである。	＜まとめ＞ 日本の水産業に関わる人々は、今後も私たちが持続して水産物を食べられるように日本全国で様々な取り組みを行っている。
評価	知・技①	思・判・表① 態度①	知・技①	知・技①	知・技①	思・判・表② 知・技②	態度②
各教科等・領域	【総合的な学習】「命の学習」⑩(～3月) ヒラメの養殖活動を通して、水産業の現状に目を向け、自分たちの食生活について考えるとともに、命の尊さについて考える。						
4つの学習内容	【④楽しさ】 自分が普段食べている水産業を思い出すことで、自分の食生活と水産業とのつながりを見付ける。	【①体験】ヒラメの養殖活動(総合的な学習の時間) 9月から3月まで、ヒラメの養殖を通して、生産者の立場から養殖について学ぶ。 【②③人・モノ】養殖プロジェクト(NPO日本養殖振興会・日本財団 海と日本プロジェクト共催) ・NPO日本養殖振興会の方による養殖活動の指導 ・養殖用ヒラメ(5匹×4クラス)と水槽、ろ過装置					【④楽しさ】 養殖活動の意義や大切さに気付き、今後の活動につなげる。
7つの学ぶ力	【①話す・聞く力】 調べたことや自分の考えを、根拠をもって話す。 話し手が伝えたいことを聞き取り、つなげて話を広げる。						
	【④調べる力】 社会「国土の地形と気候」	【③予想する力】 理科の実験の予想の仕方 社会「米作りのさかんな地域」	【②NIE で身に付く力】 資料から必要な情報を選ぶ。			【⑤考える力】 理科「植物の発芽と成長」 【⑥まとめる力】 国語「どちらを選びますか」 社会「米作りのさかんな地域」	【⑦自分の生活や社会に生かす力】 家庭科・体育(保健)・理科「天気の変化」
		【④調べる力】 算数「折れ線グラフ」「棒グラフ」					